

授業科目	* 初年次セミナー I				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	NT10201J		
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	八木 康夫、甲斐 達男、新谷 恭明、近江 雅代、手嶋 英津子、岡部 明仁							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナー1 および 2 で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナー1 では、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である「聞く」「調べる」「読む」「書く」「考える」の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ「聞く」「調べる」「読む」「書く」「考える」を鍛錬・強化できる。(DP1-1)</li> <li>2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1)</li> <li>3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べるすることができる。(DP3-1)</li> <li>4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。(DP3-1)</li> <li>5. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。(DP4-1)</li> <li>6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	80	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			60				60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	10			20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			10	10			20	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ「聞く」「調べる」「読む」「書く」「考える」を身につけることができ、自らが積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。				大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ「聞く」「調べる」「読む」「書く」「考える」を身につけることができ、他者と共同し、学ぶ姿勢がみられる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間

				(分)
1	テーマ:大学での学びとは(新谷恭明) ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは	講義・演習	復習:大学で学ぶためのスタディ・スキルズについて整理し、理解する。	30
2	テーマ:栄養学科で身につけることのできるキャリア(甲斐達男) 栄養学科で身につけることのできるキャリア・資格や将来の進路・就職先等について、現状と今後の展望を含め、説明する。	講義・演習	予習:現時点での自身の考えをまとめる。 復習:4年間での学び、過ごし方について、自身を見つめなおす。	30 30
3	テーマ:4年間を有意義に過ごすために1(八木康夫・近江雅代・手嶋英津子) 栄養学科の教育内容を説明する。初年次セミナー1のオリエンテーションを行う。	講義・演習	予習:栄養学科の教育内容(キャンパスライフ)を確認する。 復習:グループメンバーとのコミュニケーションを図る。	30 60
4	テーマ:4年間を有意義に過ごすために2(八木康夫・近江雅代・手嶋英津子) 栄養学科の上級生によるガイダンスおよびグループディスカッションを行い、自身の将来を考える。	講義・演習	予習:4年間での学び、過ごし方について、まとめる。 復習:第2~4回の講義を通して、自身の将来の目標達成のため、「いつ」「何を」「どのように」学べば良いのかを整理する。	30 60
5	テーマ:4年間を有意義に過ごすために3(八木康夫・近江雅代・手嶋英津子) 第2~5回の講義を通して、自身の将来の目標や達成するためのプランをグループ内で発表する。	講義・演習	予習:発表に備え、自身の考えをまとめておく。 復習:自身の将来の目標達成のため、「いつ」「何を」「どのように」学べば良いのかをレポートにまとめる。	30 60
6	テーマ:図書館における情報収集 図書館の使い方等のガイダンスを行う。	講義・演習	復習:情報収集について整理し、理解する。	30
7	テーマ:ネットトラブルに巻き込まれないために 身近なメディアと情報倫理について、具体的な事例を提示しながら、説明する。	講義・演習	予習:身近で起こったネットトラブルをまとめる。 復習:メディアと情報倫理について整理し、理解する。	30 30
8	テーマ:ノート・テイキングとリーディング(近江雅代・手嶋英津子) ノート・テイキングのコツ・要領やリーディングの基礎について説明する。	講義・演習	復習:演習で行った例題を確認しながら、スタディ・スキルズについて整理し、理解する。	30
9	テーマ:栄養学科で使用する単位(岡部明仁) 栄養学科の実験・実習で使用する単位について説明する。	講義・演習	復習:演習で行った例題ドリルを確認しながら、単位について整理し、理解する。	60
10	テーマ:栄養学科で使用する計算(岡部明仁) 栄養学科の実験・実習で使用する計算について説明する。	講義・演習	復習:演習で行った例題ドリルを確認しながら、計算について整理し、理解する。	60
11	テーマ:レポートの書き方1(甲斐達男) レポートの種類、レポートと感想文の違い、レポートの構成等について説明する。	講義・演習	予習:これまでに自身が作成したレポートをまとめる。 復習:レポートの書き方について整理し、理解する。	30
12	テーマ:レポートの書き方2(甲斐達男) レポートに挿入する図表の種類・特徴等について説明し、表を作成する。	講義・演習	予習:これまでに自身が作成した表をまとめる。 復習:表作成を整理し、理解する。	30 60
13	テーマ:レポートの書き方3(甲斐達男) レポートに挿入する図表の種類・特徴等について説明し、グラフを作成する。	講義・演習	予習:これまでに自身が作成したグラフをまとめる。 復習:グラフ作成を整理し、理	60

			解する。	
14	テーマ:社会で活躍している卒業生による講話(近江雅代) 管理栄養士として社会で活躍している、比較的年齢の近い卒業生による講話を行う。	講義・演習	復習:講話の感想ならびに自身の目標達成のための4年間の学びについて、レポートにまとめる。	30
15	テーマ:まとめ(八木康夫) 初年次セミナー1で学んだスタディ・スキルズについて、ポートフォリオにまとめる。	講義・演習	予習:これまでに自身が作成したドリル、図表、レポートをまとめる。 復習:ポートフォリオを作成する。	30 60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本科目は、講義と班ごとのグループワークにより、進めていきます。グループでの意見交換を積極的に行うことにより、自らの学びも増えます。他人との良好なコミュニケーションを構築しながら、自分の意見を他人に分かりやすく述べる表現力、協調性、積極性等が必要です。			
テキスト	必要に応じて、資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「大学からのスタディ・スキルズ:知へのステップ(第4版)」(くろしお出版) 「大学生・短大生のための大学での学び方」(旺文社)			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	大学では、学生が自ら進んで学業を修める積極的姿勢が必要です。本科目では、スタディ・スキルの基本を学び、栄養学科で4年間学ぶために必要な基本的知識・技術を修得します。高校生までの受け身の姿勢ではなく、自ら学んで多くの知識を修得するために、積極的に取り組みましょう。
達成度評価に関するコメント	レポートの内容については、授業の中で指示する。